

ユーロ圏の総合PMIはサービス業に支えられて6か月連続で上昇



欧州経済

- 企業の景況感は緩やかに改善している。25年11月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は52.8（前月は52.5）と6か月連続で上昇した。業種別には、製造業が49.6と前月（50.0）から下落する一方で、サービス業は53.6と前月（53.0）から上昇した。
- 個人消費は底堅く推移している。10月のユーロ圏小売売上高指数は前月比横ばいとなり、高めの水準を維持した。11月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.2と、2か月連続で同水準となった。
- 11月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.2%と、前月（同+2.1%）から伸びが若干高まった。一方、エネルギー・食品・アルコール・たばこを除くコア指数は同+2.4%と、前月と同じ伸び率となった。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客様ご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。



浜銀総合研究所

横浜銀行グループ

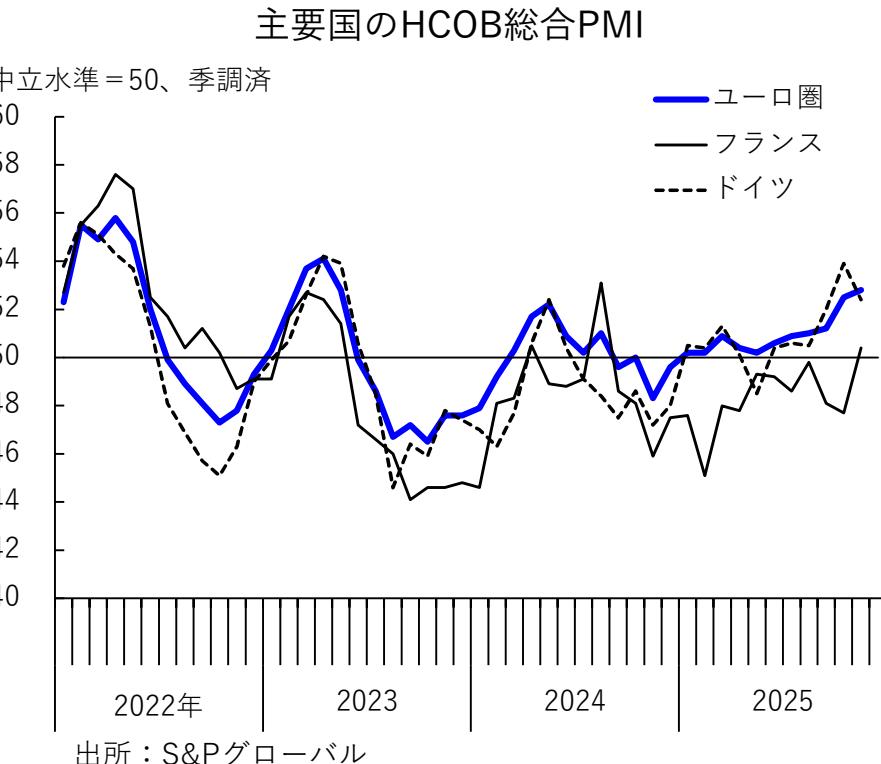
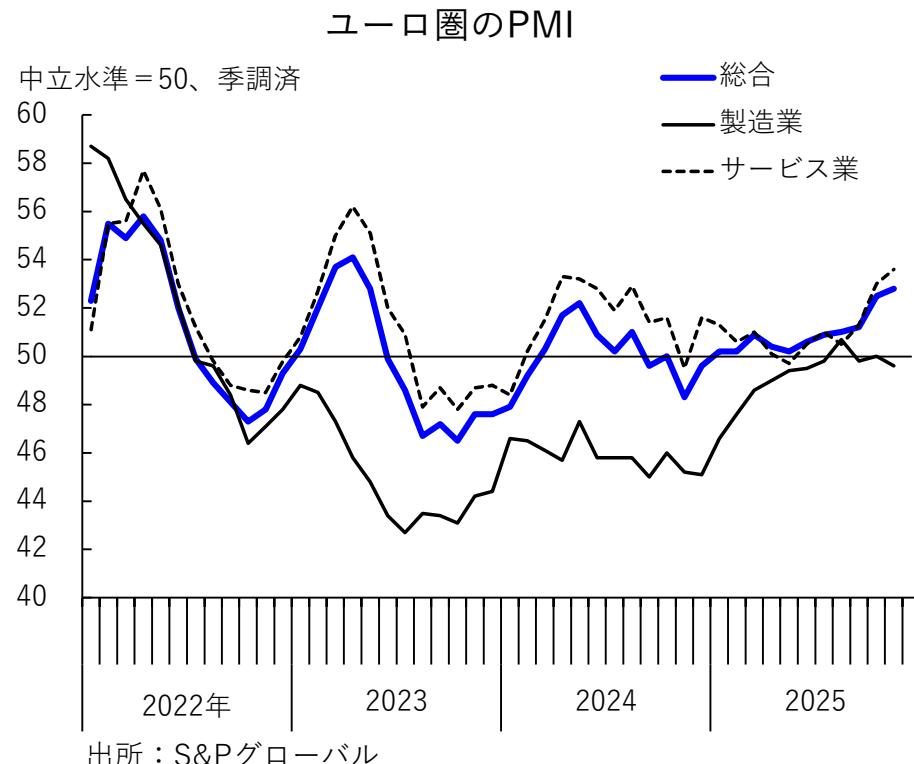
11月のユーロ圏総合PMI は前月から小幅上昇



景況感

- 企業の景況感は緩やかに改善している。25年11月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は52.8（前月は52.5）と6か月連続で上昇した。
 - 業種別には、製造業が49.6と前月（50.0）から下落する一方で、サービス業は53.6と前月（53.0）から上昇した。
- 11月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが52.4と前月（53.9）から低下したものの、フランスが50.4と前月（47.7）から大幅に上昇した。

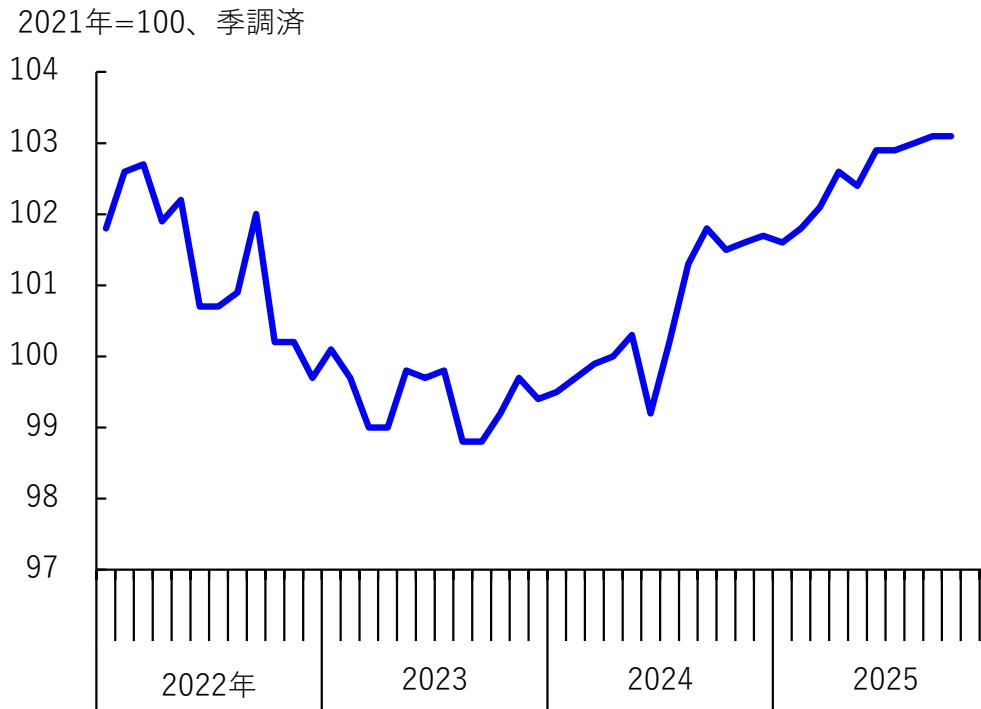
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。



10月のユーロ圏小売売上高指
数は前月比横ばい

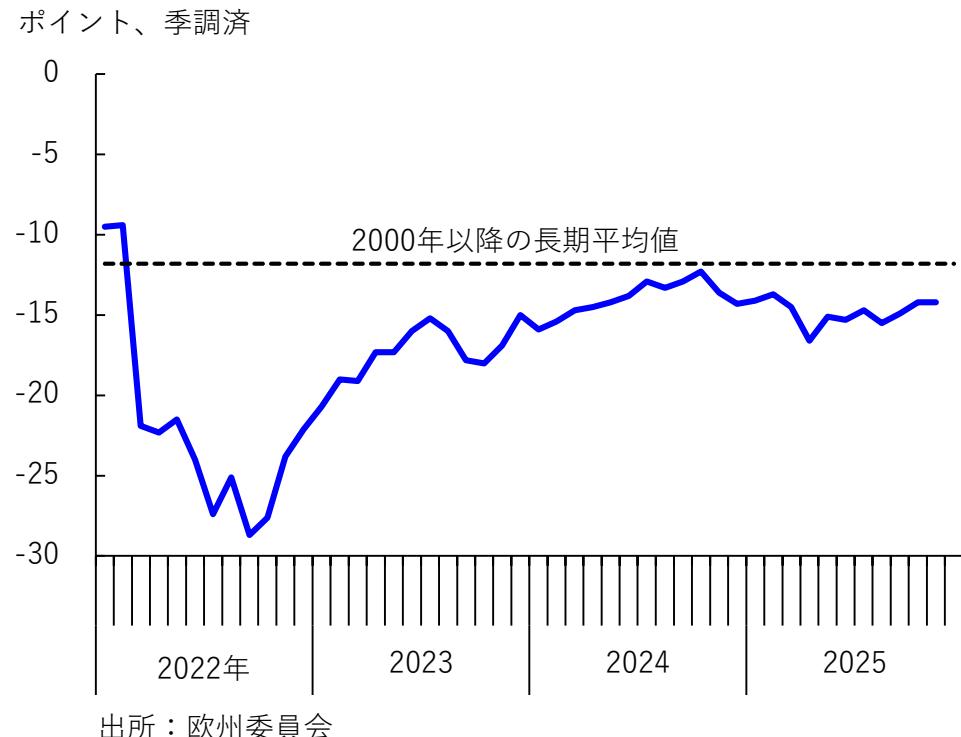
- 個人消費は底堅く推移している。25年10月のユーロ圏小売売上高指数は前月比横ばいとなり、高めの水準を維持した。
 - 食品・飲料・たばこが前月比+0.3%と上昇に転じた。また自動車燃料も同+0.3%と上昇。一方、非食料品（除く自動車燃料）は同-0.2%と低下した。
- 消費マインドは横ばい。11月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.2と、2か月連続で同水準となった。

ユーロ圏小売売上高指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

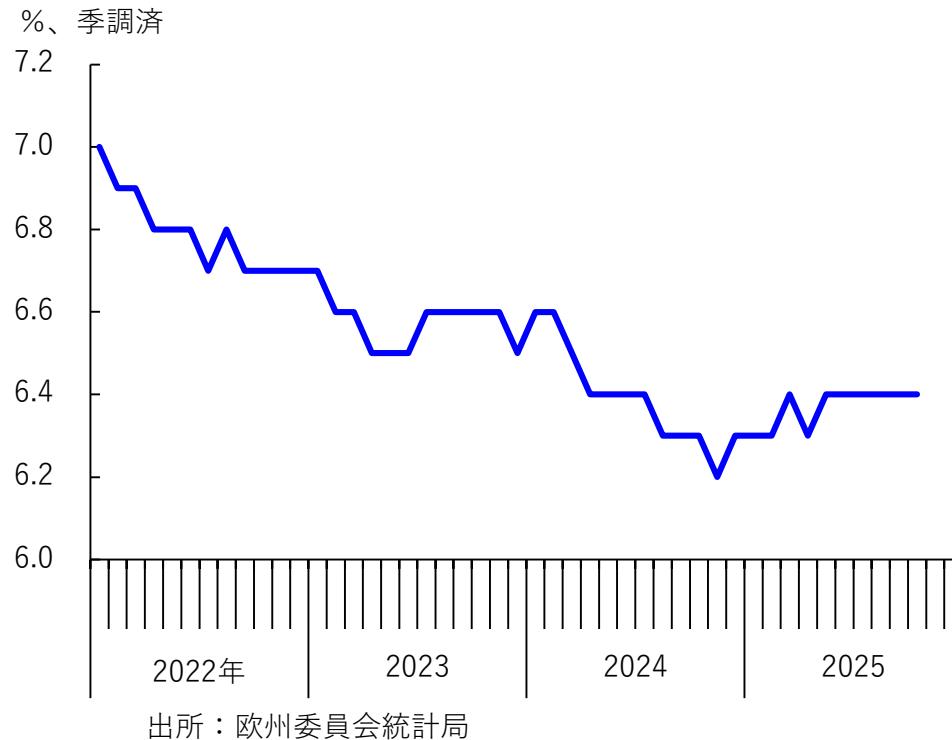


出所：欧州委員会

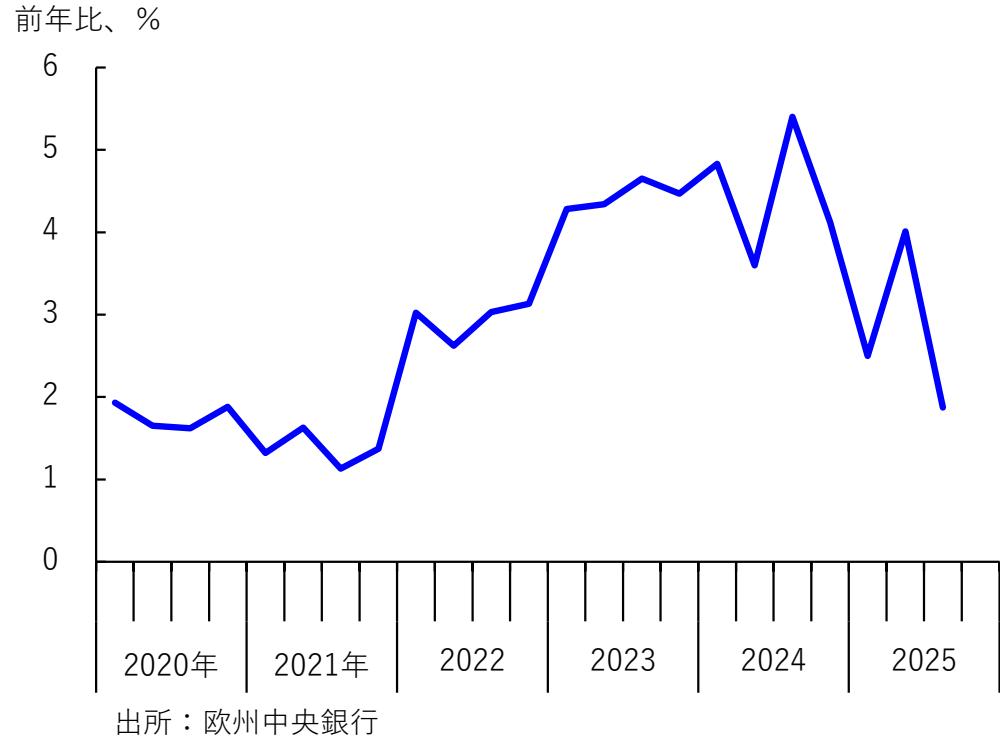
7~9月期の妥結賃金の伸び
が大幅に鈍化

- 25年10月のユーロ圏の失業率は6.4%と、6か月連続で同水準となった。
 - ドイツの失業率が3.8%と前月から横ばい。フランスも7.7%と前月から横ばいとなった。
- 労使交渉の結果を受けた妥結賃金は7~9月期に前年比+1.87%と、4~6月期の同+4.01%から伸びが大幅に鈍化した。
 - 妥結賃金の伸びの鈍化は、先行き労働集約型のサービス部門の物価上昇率が鈍化する可能性を示唆している。

ユーロ圏失業率



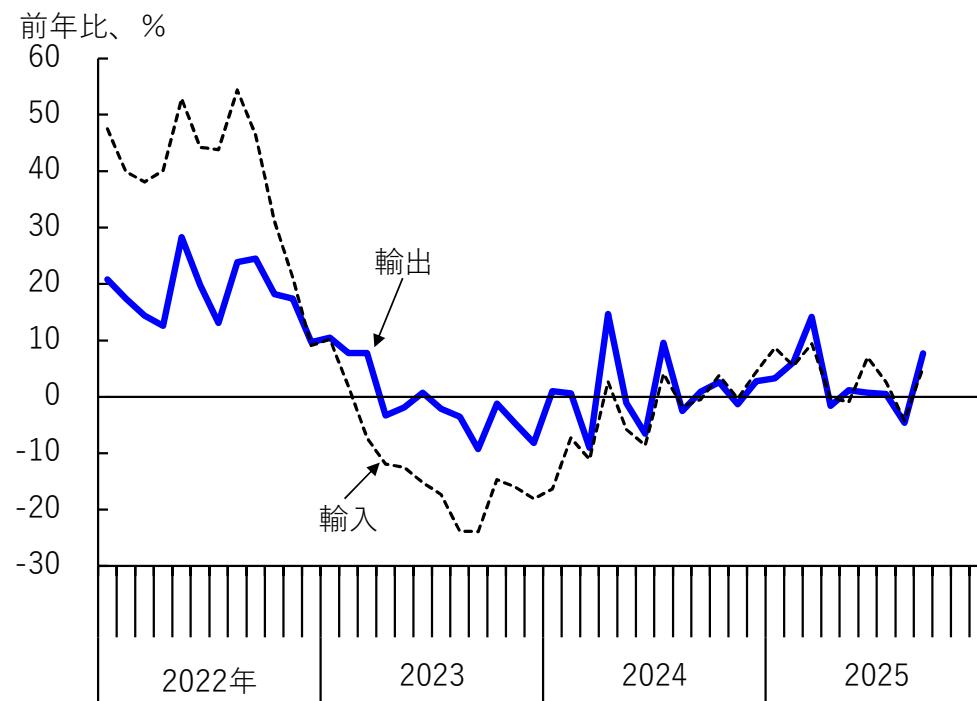
ユーロ圏妥結賃金





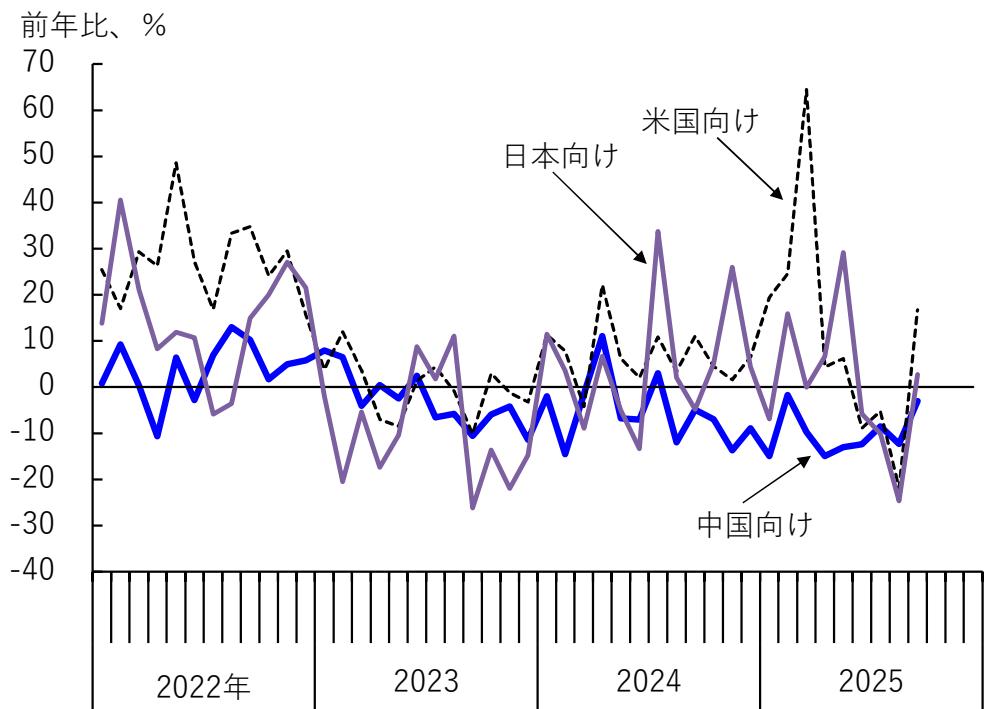
- 25年9月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比+7.7%と再び増加した。また、財の輸入も同+5.3%と再び増加。
 - なお、季調値でみると、9月は財の輸出が前月比+4.7%と大幅な増加に転じた。また、9月の輸入も同+1.3%と3か月ぶりの増加となった。
- 9月の財の輸出（原数値）を仕向け地別にみると、米国向け（前年比+16.7%）と日本向け（同+2.7%）がいずれも3か月ぶりに増加した。一方、中国向け（同-12.8%）は14か月連続で前年水準割れとなった。

ユーロ圏の財の輸出入



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏の仕向け地別の財輸出



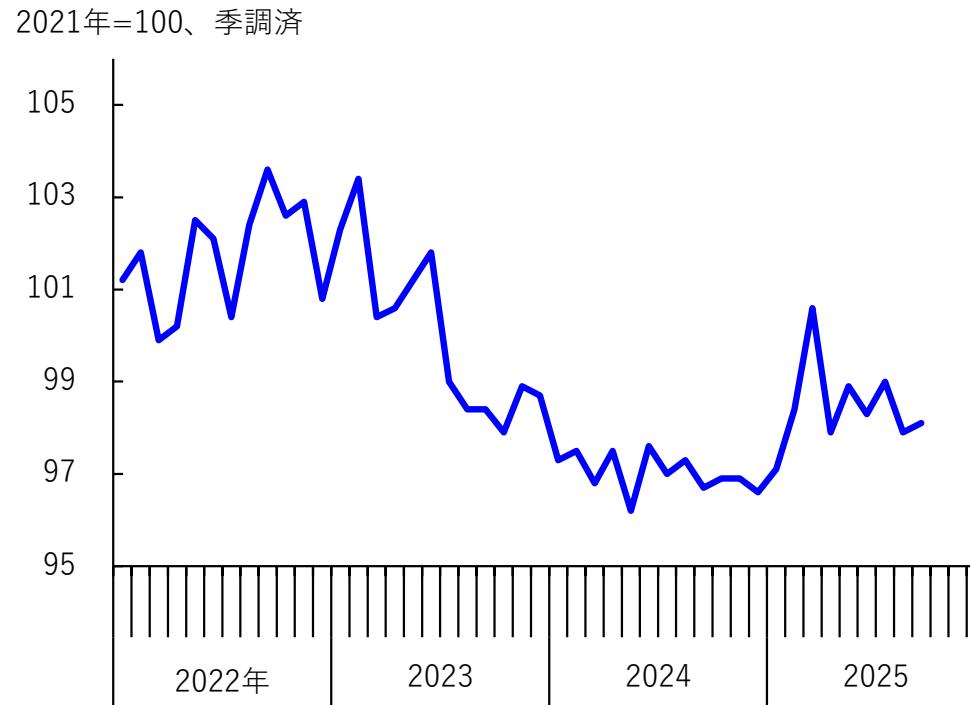
出所：欧州委員会統計局

9月のユーロ圏鉱工業生産指数は 再び上昇



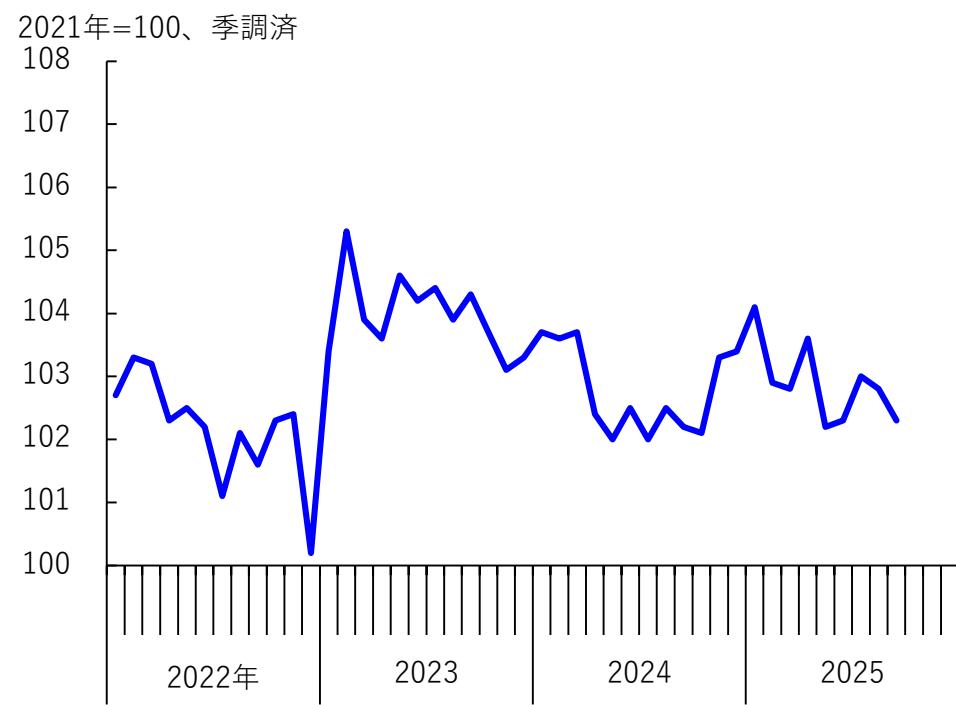
- 企業の生産活動は若干持ち直し。25年9月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比+0.2%と再び上昇した。
 - 財別にみると、非耐久財（前月比-2.6%）の指数が大幅に低下する一方で、エネルギー（同+1.2%）が大幅な上昇に転じた。国別には、ドイツ（同+1.9%）やフランス（同+0.8%）などの指数が上昇する一方で、アイルランド（同-9.4%）が大幅に低下した。
- 建設活動は弱含みで推移。9月のユーロ圏建設活動指数は前月比-0.5%と2か月連続で低下した。
 - 国別にはドイツが前月比-0.9%と2か月連続で低下するとともに、フランスが同-1.3%と低下に転じた。一方、イタリアは同+0.9%と上昇に転じた。

ユーロ圏鉱工業生産指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数



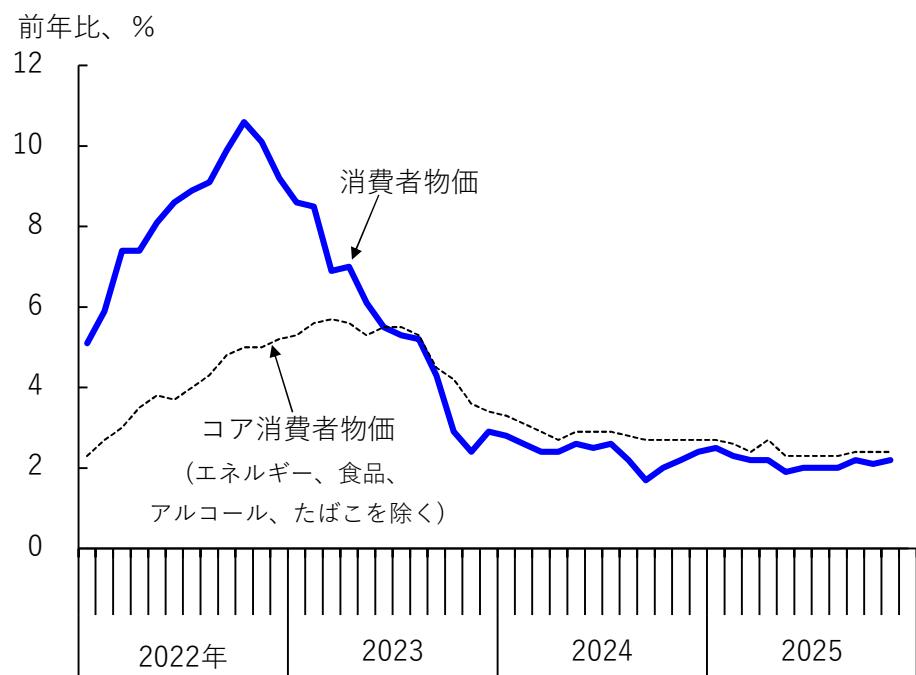
出所：欧州委員会統計局

11月の消費者物価は伸びが若干加速



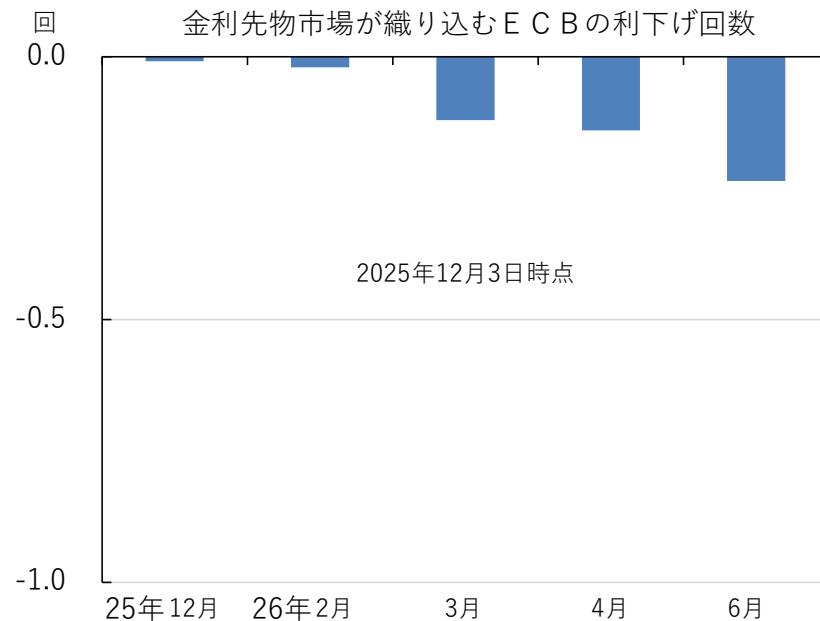
- 25年11月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.2%と、前月（同+2.1%）から伸びが若干高まった。一方、エネルギー・食品・アルコール・たばこを除くコア指数は同+2.4%と、前月と同じ伸び率となった。
 - －品目別には、サービスが前年比+3.5%と前月（同+3.4%）から伸びが若干高まった。またエネルギーが同-0.5%と前月（同-0.9%）から下落幅が縮小した。
- ユーロ圏景気が緩やかに回復し、物価が落ち着いている中で、金利先物市場ではECB（欧洲中央銀行）が次回12月18日の理事会で政策金利を据え置くとの見方が大勢を占めている。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2025年11月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

金融市场の利下げ予想



注:1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。

なお利下げ回数のため、マイナス表記している。

出所 : Bloomberg



横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5